



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 曙ブレーキ工業株式会社

コード番号 7238 URL <http://www.akebono-brake.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 信元 久隆

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 篠田 達也

TEL 048-560-1501

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	156,190	△1.8	3,648	44.1	2,805	122.7	132	—
24年3月期第3四半期	159,091	△7.5	2,532	△76.5	1,259	△86.6	△1,045	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 238百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △1,577百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	0.99	0.99
24年3月期第3四半期	△7.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	175,419		48,568			23.7
24年3月期	181,030		49,815			23.9

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 41,603百万円 24年3月期 43,276百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	204,700	△2.3	4,000	4.3	3,100	47.8	100	—	0.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
除外 4社 (社名)アムブレーキマニュファクチャリングLTD.、アムブレーキコーポレーション、エーマックブレーキL. L. C.、アムテックブレーキL. L. C.
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	135,992,343 株	24年3月期	135,992,343 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	3,265,307 株	24年3月期	3,402,402 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	132,668,496 株	24年3月期3Q	132,536,867 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社グループをとりまく経営環境の変化、市場の動向、為替の変動等の様々な要因により、大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	10
(5) セグメント情報等.....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10
4. 補足情報.....	11
(1) 平成25年3月期 第3四半期連結累計期間 決算概要〔連結〕.....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(注1)において、世界経済は中国の成長鈍化と欧州の債務危機による景気停滞が影を落とした一方、ASEANを始めとする新興国の成長拡大が継続し米国景気も回復の兆しを見せ始めました。特に量的金融緩和の効果が出始めた米国は住宅着工件数も底を打った状況です。欧州はECB(欧州中央銀行)による信用補完とセーフティネットの構築でギリシャ、スペインなどの信用リスクは後退しましたが、各国の緊縮財政から景気の減速が続いています。日本国内経済は欧州の景気低迷や領土問題に端を発した中国での日本製品不買運動の影響を受け不透明感が払拭されておりません。

自動車業界においては、北米が景気の緩やかな回復基調に入った事を反映して、各社の生産も上向き市場は拡大しつつあります。欧州は依然需要の低迷が見られますが、アジアはASEAN諸国を中心に生産、販売共に拡大しています。中国は全体として以前のような2ケタ成長は期待出来ないものの、世界最大の市場として依然成長を続けています。日本国内は震災影響があった昨年度から比べると国内市場は回復していますが、欧州の停滞と中国での日本車不買運動の影響から直近では輸出が低迷している状況です。

この様な状況のもと、第3四半期連結累計期間における売上高は1,562億円(前年同期比1.8%減)、営業利益は36億円(前年同期比44.1%増)、経常利益は28億円(前年同期比122.7%増)、四半期純利益は1億円(前年同期は四半期純損失10億円)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 日本

震災復興需要やエコカー補助金効果により受注が順調に推移したものの、完成車メーカーの海外移管や輸出減少の加速、海外向けを中心とする補修品ビジネスが減少したことにより売上高は679億円(前年同期比5.0%減)となりました。利益面では、受注の減少による影響や海外市場向け開発費の増加(グローバル開発を日本での一括管理に当期より変更)等により営業利益は22億円(前年同期比45.5%減)となりました。

② 北米

前年度の震災影響の反動から日系完成車メーカーからの受注が戻り売上高は747億円(前年同期比0.3%増)となりました。利益面では、昨年来経営の全社最重要課題の1つとして取り組んだ以下の収益改善諸施策が功を奏し通年での営業赤字からの脱却に向け、営業損失は3億円に縮小しました。なお、前年同期累計期間は営業損失44億円でしたが、同期間には「在外子会社の事業譲受に係る特定勘定」(注2)の取崩益が17億円あったため、実質的には前年同期比営業収支は58億円改善しております。

(北米の収支改善に向けた主たる施策)

- ・一部不採算製品の生産終了及び採算を確保した新規製品受注増
- ・販売価格の見直し・改定
- ・資材調達価格の改善(鋳物の値下げ)
- ・生産性向上(ロジスティックスの改善を含む)

③ 欧州

欧州域内の自動車需要の低迷に加え、中国向けの製品の出荷減が重なり、為替換算の影響も含めると売上高は35億円(前年同期比8.0%減)となり、営業損失は6億円(前年同期は営業損失2億円)となりました。

④ 中国

当第3四半期連結累計期間1月～9月において、日系完成車メーカーからの受注が好調に推移したことから売上高は49億円(前年同期比33.3%増)と増収となり、人件費の増加等もありましたが営業利益は6億円(前年同期比9.6%増)となりました。

⑤ タイ

日系を含む現地完成車メーカーからの受注が増加し売上高は36億円(前年同期比45.4%増)となりましたが、タイの最低賃金上昇による人件費の増加及び新規製品(ピストン)の製造ラインの設置、従来製品の増産体制構築のための追加費用等により営業利益は74百万円(前年同期比73.0%減)となりました。

⑥ インドネシア

日系四輪自動車メーカーからの受注は好調でしたが、二輪車の販売不振、為替換算の影響により売上高は100億円(前年同期比8.5%減)、営業利益は14億円(前年同期比29.2%減)となりました。

(注1) 当第3四半期連結累計期間とは

- (1) 北米・中国・タイ・インドネシア：平成24年1月～平成24年9月
- (2) 日本・欧州：平成24年4月～平成24年12月 となります。

(注2) 平成22年3月期にロバートボッシュL.L.C.より譲受けた事業について、事業譲受け後に発生することが予想される営業損失に対して連結貸借対照表の「在外子会社の事業譲受に係る特定勘定」として負債に計上したものであります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は1,754億円と前連結会計年度末比56億円の減少となりました。

流動資産は739億円と前連結会計年度末比166億円の減少となりました。主な要因は、有価証券（譲渡性預金）が121億円減少及び受取手形及び売掛金が14億円減少したことによるものです。固定資産は1,016億円と前連結会計年度末比110億円の増加となりました。主な要因は、北米・アジアを中心とした設備投資により有形固定資産が79億円増加、国内の基幹システムの構築により無形固定資産が9億円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は1,269億円と前連結会計年度末比44億円の減少となりました。

流動負債は569億円と前連結会計年度末比104億円の減少となりました。主な要因は、短期借入金及び一年内返済予定の長期借入金が83億円減少したことによるものです。固定負債は700億円と前連結会計年度末比60億円の増加となりました。主な要因は、長期借入金が60億円増加したことによるものです。

なお、有利子負債残高841億円から「現金及び預金」と「有価証券（譲渡性預金）」を控除したネット有利子負債残高は637億円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は486億円と前連結会計年度末比12億円の減少となりました。主な要因は、配当金の支払い等により利益剰余金が12億円減少、その他の包括利益累計額が6億円減少、少数株主持分が5億円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末比1億円増加の189億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、49億円の収入（前年同期比49億円の収入増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益28億円及び減価償却費61億円があった一方で、退職給付引当金の減少額23億円及び法人税等の支払額17億円によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億円の支出（前年同期比117億円の支出減少）となりました。主な要因は、定期預金及び有価証券（譲渡性預金）の純増額138億円及び有形固定資産の取得による支出126億円によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、46億円の支出（前年同期は52億円の収入）となりました。主な要因は、長期借入れによる収入145億円があった一方で、長期借入金の返済による支出130億円、短期借入金の純減額40億円、配当金の支払額13億円及び少数株主への配当金の支払額7億円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月1日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

来期への取り組みについて

日米における株高に加え、円安傾向が定着し、自動車業界においても景況感の改善の兆しが見え始めました。平成24年11月1日に発表した 新中期経営計画 「akebono New Frontier 30 - 2013」についても、初年度はその時流に乗り、スピードをもって、以下を中心とする重点施策を確実に実行していきます。

(重点施策)

- ・ハイパフォーマンス（高性能量産車）向けブレーキおよび、お客様のグローバルプラットフォーム（全世界での車台共通化）に対応したブレーキの開発・生産・供給体制の整備
- ・北米事業の黒字化の定着と安定した収益基盤の確立
- ・各地域の需要に見合った生産能力及び人員の最適配置による採算の大幅改善（グローバル）
- ・次世代摩擦材製造設備追加導入・量産開始（日）
- ・キャリパー・ローター等の機械加工製品の採算性改善（日・米）
- ・間接業務のゼロレビューによる業務の抜本的に基づく固定費削減（日・米・欧）

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、特定子会社であるアムブレーキマニュファクチャリングLTD.、アムブレーキコーポレーション、エーマックブレーキL.L.C.及びアムテックブレーキL.L.C.は、北米子会社であるアケボノブレーキコーポレーションと合併したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ94百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,015	19,445
受取手形及び売掛金	36,326	34,975
有価証券	13,100	1,000
商品及び製品	3,687	2,816
仕掛品	1,821	2,145
原材料及び貯蔵品	7,632	8,141
繰延税金資産	1,464	649
その他	5,432	4,735
貸倒引当金	△39	△41
流動資産合計	90,438	73,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	42,785	44,356
減価償却累計額	△26,153	△27,174
建物及び構築物 (純額)	16,632	17,182
機械装置及び運搬具	115,379	120,381
減価償却累計額	△94,063	△97,693
機械装置及び運搬具 (純額)	21,316	22,688
土地	21,332	21,628
建設仮勘定	6,691	12,166
その他	18,311	18,790
減価償却累計額	△17,045	△17,320
その他 (純額)	1,266	1,470
有形固定資産合計	67,237	75,134
無形固定資産		
投資その他の資産	2,844	3,756
投資有価証券	14,799	14,911
繰延税金資産	4,022	4,128
その他	1,777	3,701
貸倒引当金	△86	△77
投資その他の資産合計	20,512	22,663
固定資産合計	90,592	101,553
資産合計	181,030	175,419

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,326	23,520
短期借入金	14,064	10,118
1年内返済予定の長期借入金	15,307	10,917
未払法人税等	874	480
賞与引当金	1,821	539
設備関係支払手形	1,239	1,976
その他	9,651	9,346
流動負債合計	67,282	56,895
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	42,047	48,023
退職給付引当金	2,408	2,494
役員退職慰労引当金	31	33
繰延税金負債	—	3
再評価に係る繰延税金負債	3,761	3,761
その他	686	643
固定負債合計	63,933	69,956
負債合計	131,214	126,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,939	19,939
資本剰余金	14,253	14,255
利益剰余金	8,062	6,867
自己株式	△2,278	△2,185
株主資本合計	39,977	38,876
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,710	2,444
土地再評価差額金	6,389	6,389
為替換算調整勘定	△5,800	△6,107
その他の包括利益累計額合計	3,299	2,727
新株予約権	316	242
少数株主持分	6,223	6,723
純資産合計	49,815	48,568
負債純資産合計	181,030	175,419

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	159,091	156,190
売上原価	140,784	139,009
売上総利益	18,308	17,181
販売費及び一般管理費	15,775	13,533
営業利益	2,532	3,648
営業外収益		
受取利息	57	55
受取配当金	166	229
持分法による投資利益	6	11
その他	137	269
営業外収益合計	366	563
営業外費用		
支払利息	936	872
その他	703	534
営業外費用合計	1,640	1,407
経常利益	1,259	2,805
特別利益		
固定資産売却益	7	31
補助金収入	818	56
特別利益合計	825	87
特別損失		
固定資産除売却損	106	37
固定資産圧縮損	775	15
特別損失合計	881	52
税金等調整前四半期純利益	1,203	2,839
法人税、住民税及び事業税	1,344	1,036
法人税等調整額	△20	844
法人税等合計	1,325	1,879
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△122	960
少数株主利益	924	828
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,045	132

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△122	960
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△584	△266
土地再評価差額金	508	—
為替換算調整勘定	△1,380	△456
その他の包括利益合計	△1,456	△722
四半期包括利益	△1,577	238
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,400	△441
少数株主に係る四半期包括利益	823	679

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,203	2,839
減価償却費	6,650	6,086
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△2,497	△2,296
受取利息及び受取配当金	△223	△284
支払利息	936	872
持分法による投資損益 (△は益)	△6	△11
固定資産除売却損益 (△は益)	99	6
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,937	1,263
たな卸資産の増減額 (△は増加)	692	8
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,471	△748
その他	△2,514	△2,444
小計	1,874	5,293
利息及び配当金の受取額	223	284
利息の支払額	△843	△848
法人税等の支払額	△1,181	△1,745
法人税等の還付額	—	1,963
営業活動によるキャッシュ・フロー	72	4,946
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△10,700	△2,900
有価証券の償還による収入	9,400	11,300
定期預金の預入による支出	△7,550	△4,150
定期預金の払戻による収入	7,800	9,500
有形固定資産の取得による支出	△9,320	△12,648
国庫補助金等による収入	345	463
有形固定資産の売却による収入	11	54
投資有価証券の取得による支出	△12	△512
関係会社株式の取得による支出	△1,265	—
関係会社出資金の売却による収入	200	—
その他	△922	△1,374
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,012	△268
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,272	△4,041
長期借入れによる収入	12,000	14,472
長期借入金の返済による支出	△7,198	△13,044
配当金の支払額	△1,326	△1,326
少数株主への配当金の支払額	△488	△674
少数株主からの払込みによる収入	—	24
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△1
その他	△21	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,238	△4,613
現金及び現金同等物に係る換算差額	△311	15
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,013	80
現金及び現金同等物の期首残高	38,461	18,815
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,448	18,895

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への売上高	65,654	74,217	2,971	3,688	2,354	10,207	159,091	—	159,091
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,846	190	823	1	96	706	7,663	△7,663	—
計	71,500	74,407	3,795	3,690	2,449	10,913	166,754	△7,663	159,091
セグメント利益又は 損失 (△)	4,046	△4,356	△173	533	274	2,018	2,341	191	2,532

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北米	欧州	中国	タイ	インド ネシア			
売上高									
外部顧客への売上高	62,691	73,383	2,509	4,911	3,450	9,246	156,190	—	156,190
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,254	1,283	982	7	112	740	8,378	△8,378	—
計	67,945	74,666	3,490	4,918	3,562	9,986	164,568	△8,378	156,190
セグメント利益又は 損失 (△)	2,206	△305	△561	585	74	1,429	3,427	221	3,648

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

平成25年3月期 第3四半期連結累計期間 決算概要〔連結〕

1. 連結業績

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (H23.4~H23.12)		当第3四半期連結累計期間 (H24.4~H24.12)		増減	増減率
売上高	(100)	159,091	(100)	156,190	△2,901	△1.8%
売上総利益	(11.5)	18,308	(11.0)	17,181	△1,127	△6.2%
営業利益	(1.6)	2,532	(2.3)	3,648	1,116	44.1%
経常利益	(0.8)	1,259	(1.8)	2,805	1,545	122.7%
特別損益		△56		35	91	-
税前四半期純利益	(0.8)	1,203	(1.8)	2,839	1,636	136.0%
法人税等・調整額		1,325		1,879	555	41.9%
少数株主利益		924		828	△95	△10.3%
四半期純利益	(-)	△1,045	(0.1)	132	1,177	-
総資産	(前期末) = 平成24年3月期	181,030	(当期末)	175,419	△5,611	△3.1%
純資産	(前期末)	49,815	(当期末)	48,568	△1,247	△2.5%
自己資本	(前期末)	43,276	(当期末)	41,603	△1,673	
自己資本比率	(前期末)	23.9%	(当期末)	23.7%	△0.2%	
現預金(有価証券含む)	(前期末)	34,115	(当期末)	20,445	△13,670	
有利子負債	(前期末)	86,514	(当期末)	84,146	△2,367	
ネット有利子負債	(前期末)	52,399	(当期末)	63,701	11,302	
ネットD/Eレシオ	(前期末)	1.21倍	(当期末)	1.53倍	0.32倍	
営業CF		72		4,946	4,874	
(内数：減価償却費)		(6,650)		(6,086)	(△564)	
投資CF		△12,012		△268	11,744	
(内数：有価証券&定期預金)		(△1,050)		(13,750)	(14,800)	
(内数：設備投資)		(△10,210)		(△13,832)	(△3,623)	
フリーCF		△11,940		4,678	16,618	
連結子会社数	(前期末)	29社	(当期末)	23社	△6社	
持分法適用会社数	(前期末)	1社	(当期末)	1社	-	
期中平均レート	USD	USD 80.2円	USD	USD 79.2円	△1.0円	
	EUR / CNY	EUR 110.6円 / CNY 12.4円	EUR	EUR 102.5円 / CNY 12.5円	△8.1円 / 0.1円	
	THB / IDR	THB 2.6円 / IDR 0.009円	THB	THB 2.6円 / IDR 0.009円	-円 / -円	

2. 地域別業績

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (H23.4~H23.12)		当第3四半期連結累計期間 (H24.4~H24.12)		増減	増減率	
売上高	日本	71,500	67,945	△3,555	△5.0%		
	北米	74,407	74,666	259	0.3%		
	欧州	3,795	3,490	△304	△8.0%		
	中国	3,690	4,918	1,228	33.3%		
	タイ	2,449	3,562	1,113	45.4%		
	インドネシア	10,913	9,986	△927	△8.5%		
	連結消去	△7,663	△8,378	△715	-		
	連結	159,091	156,190	△2,901	△1.8%		
営業利益	日本	5.7%	4,046	3.2%	2,206	△1,840	△45.5%
	北米	-	△4,356	-	△305	4,051	-
	欧州	-	△173	-	△561	△388	-
	中国	14.5%	533	11.9%	585	51	9.6%
	タイ	11.2%	274	2.1%	74	△200	△73.0%
	インドネシア	18.5%	2,018	14.3%	1,429	△589	△29.2%
	連結消去	-	191	-	221	30	15.5%
	連結	1.6%	2,532	2.3%	3,648	1,116	44.1%

3. 通期連結業績予想数値

(単位：百万円)

		11/1公表 通期連結業績予想数値 (H24. 4～H25. 3)		2/5公表 通期連結業績予想数値 (H24. 4～H25. 3)		増減	増減率
売上高	日本		91,400		89,500	△1,900	△2.1%
	北米		98,100		98,300	200	0.2%
	欧州		4,700		4,700	0	0.0%
	中国		5,800		6,100	300	5.2%
	タイ		4,900		5,100	200	4.1%
	インドネシア		13,200		13,100	△100	△0.8%
	連結消去		△9,700		△12,100	△2,400	-
	連結		208,400		204,700	△3,700	△1.8%
営業利益	日本	4.4%	4,000	2.3%	2,100	△1,900	△47.5%
	北米	0.0%	0	0.1%	100	100	-
	欧州	-	△600	-	△850	△250	-
	中国	6.9%	400	7.5%	460	60	15.0%
	タイ	2.2%	110	2.7%	140	30	27.3%
	インドネシア	14.3%	1,890	14.1%	1,850	△40	△2.1%
	連結消去	-	200	-	200	0	0.0%
	連結	2.9%	6,000	2.0%	4,000	△2,000	△33.3%

前提為替レート	USD	EUR	CNY	THB	IDR	
	前回予想	78.8円	100.0円	12.5円	2.5円	0.009円
	今回予想	80.1円	105.6円	12.7円	2.6円	0.009円

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。